

審査基準（女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究）

I 採択案件の決定方法

提案された企画内容について、スポーツ庁に設置された「競技スポーツ課等技術審査委員会（以下、委員会という。）」において審査を行い、委員会の各委員が評価した評価項目1～2の合計点数の平均点が満点の1/2以上かつ、各評価項目における委員の平均点が満点の1/3以上の企画内容から、得点の高い順に複数の者を採択案件に決定する。

II 審査方法

提出された企画提案書をもとに、委員会において選考を実施する。なお、必要に応じて審査期間中に追加資料の提出や内容について説明を求めることがある。

III 評価方法

評価は下記の各評価項目について次の評価基準による5段階評価等を行い、委員会の各委員が各々評価した採点結果の合計を平均したものを当該提案者の得点とする。

〔評価項目〕

1 事業実施主体に関する評価

- (1) 事業実施に必要な人員、組織体制及び業務管理を適正に遂行できる体制（事務処理体制及び関係機関との連携体制含む）が整っていること。
- (2) 事業を効果的・効率的に遂行するために必要な実績等を有している（事業を適切に遂行するための技術力やノウハウ等を有している）こと。
- (3) 営業経歴等から経営基盤が確立していること。

2 事業内容に関する評価

(1) 基本項目

- ① 企画提案内容が、女性アスリートや指導者等のニーズを踏まえた女性アスリートの国際競技力の向上に資するものであること。
- ② 企画提案の実施計画が具体的に設定（現状、課題・テーマの設定、具体的な取組、具体的に目指す成果）されており、実現性、妥当性に優れていること。
- ③ 企画提案の実施の方法、内容、計画等が適正性、効率性に優れていること。
- ④ 企画提案の内容が、独自性、新規性に優れていること。
- ⑤ 妥当な経費が示されていること。
- ⑥ 調査研究の成果が、女性アスリートや指導者等にとって、有効なものとして活用されるような方策が示されていること。

(2) 重点評価項目

調査研究の内容が、「パラアスリート支援」、「女性アスリートの直面する健康課題の解消」に寄与するものであること。

3 ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する評価

ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する認定等又は内閣府男女共同参画局長の認定等相当確認を有していること。

〔評価基準〕

評価項目	点数	評価基準				
		大変優れている	優れている	普通	やや劣っている	劣っている
1-(1)	5	5	4	3	2	1
1-(2)	5	5	4	3	2	1
1-(3)	5	5	4	3	2	1
2-(1)-①	5	5	4	3	2	1
2-(1)-②	5	5	4	3	2	1
2-(1)-③	5	5	4	3	2	1
2-(1)-④	5	5	4	3	2	1
2-(1)-⑤	5	5	4	3	2	1
2-(1)-⑥	5	5	4	3	2	1
2-(2)	2	「パラアスリート支援」または「女性アスリートの直面する健康課題の解消」に関連する調査研究については、2点加点する。				
3	1. 5	<p>以下の認定等の中で該当する最も配点の高い区分により評価を行う。</p> <p>○女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づく認定（えるぼし認定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定段階1（労働時間等の働き方に係る基準は満たすこと。）＝0. 5点 ・認定段階2（労働時間等の働き方に係る基準は満たすこと。）＝1点 ・認定段階3＝1. 5点 <p>・行動計画策定済（女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定義務がない事業主（常時雇用する労働者の数が300人以下のもの）に限る（計画期間が満了していない行動計画を策定している場合のみ）＝0. 2点</p> <p>○次世代育成支援対策推進法（次世代法）に基づく認定（くるみん認定企業・プラチナ認定企業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くるみん認定＝0. 5点 ・プラチナくるみん認定＝1点 <p>○青少年の雇用の促進等に関する法律（若者雇用促進法）に基づく認定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユースエール認定＝1点 <p>○上記に該当する認定等を有しない＝0点</p> <p>※内閣府男女共同参画局長の認定等相当確認を受けている外国法人については、相当する各認定等に準じて評価する。</p>				